

閑瀕

No.185



創 秋

家 元 小 川 閑 澁



花材／野ばらの実、オンシジウム、アンスリウム 花器／変形花瓶（松井孝作）



花材／ほけの実、鉄線 花器／備前焼偏壺



花材／さんざし、雪柳、ガーベラ 花器／焼しめ変形花瓶

秋の彩り

副家元

小川万喜子



1



2

1 足付変形花器に、のいばら、すすき、小菊で、深まりゆく秋を表現しました。

のいばらはあまりためが効きませんが、ゆっくりと曲げて弧を描き、すすきの穂と小菊をマッス状に使用して、バランスをとりました。

器の色彩に合わせて、シックな色調でまとめた作品です。

2 白釉変形花器に、コンパクタの実、オンシジウム、かすみそうを華やかに生けた小品花です。

コンパクタの赤い実と、かすみそうの白い花のマッスの中に、黄色のオンシジウムの花をふわっと挿して、彩りも鮮やかに構成しました。